

第7回産学官連携推進会議

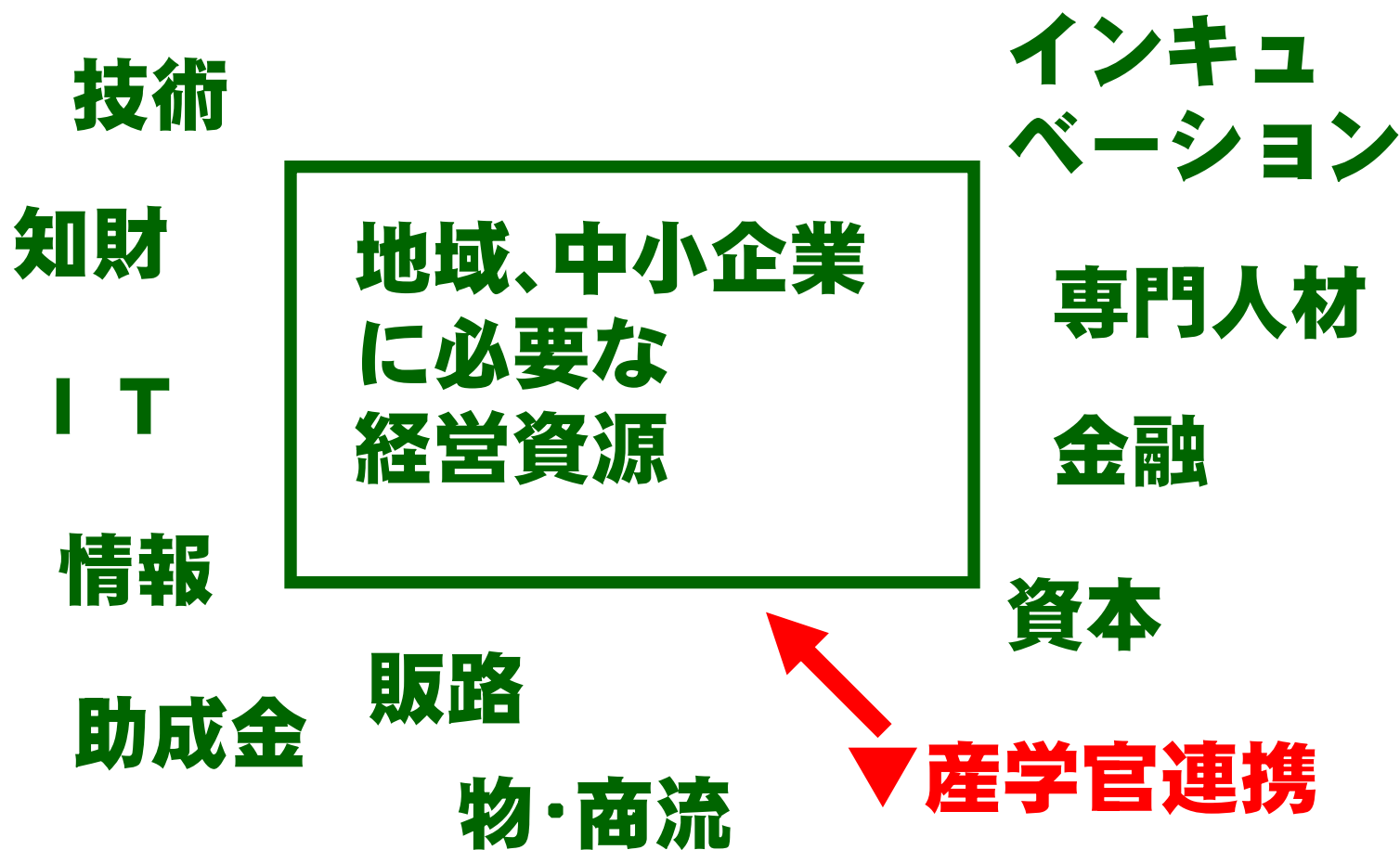
ワークショップ分科会①「科学技術による地域イノベーション」

成功事例に学ぶ産学官連携の秘訣 ～売上に寄与した128事例の分析～

平成20年6月14日

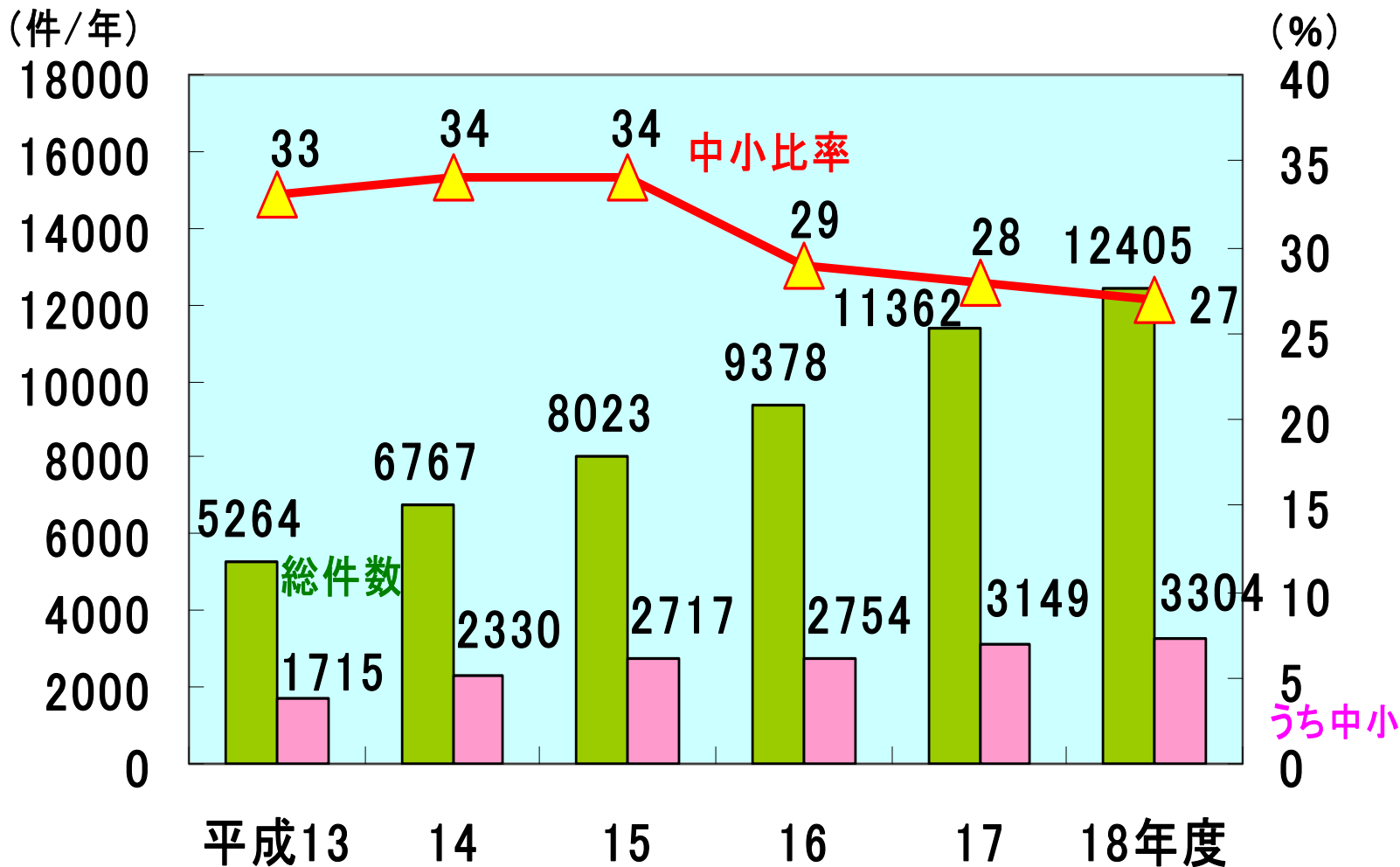
(独) 中小企業基盤整備機構
理事 後藤芳一

地域、中小経営に、産学官連携は、 未開拓の有力な手段ではないか



広がる産学官連携、中小では停滞

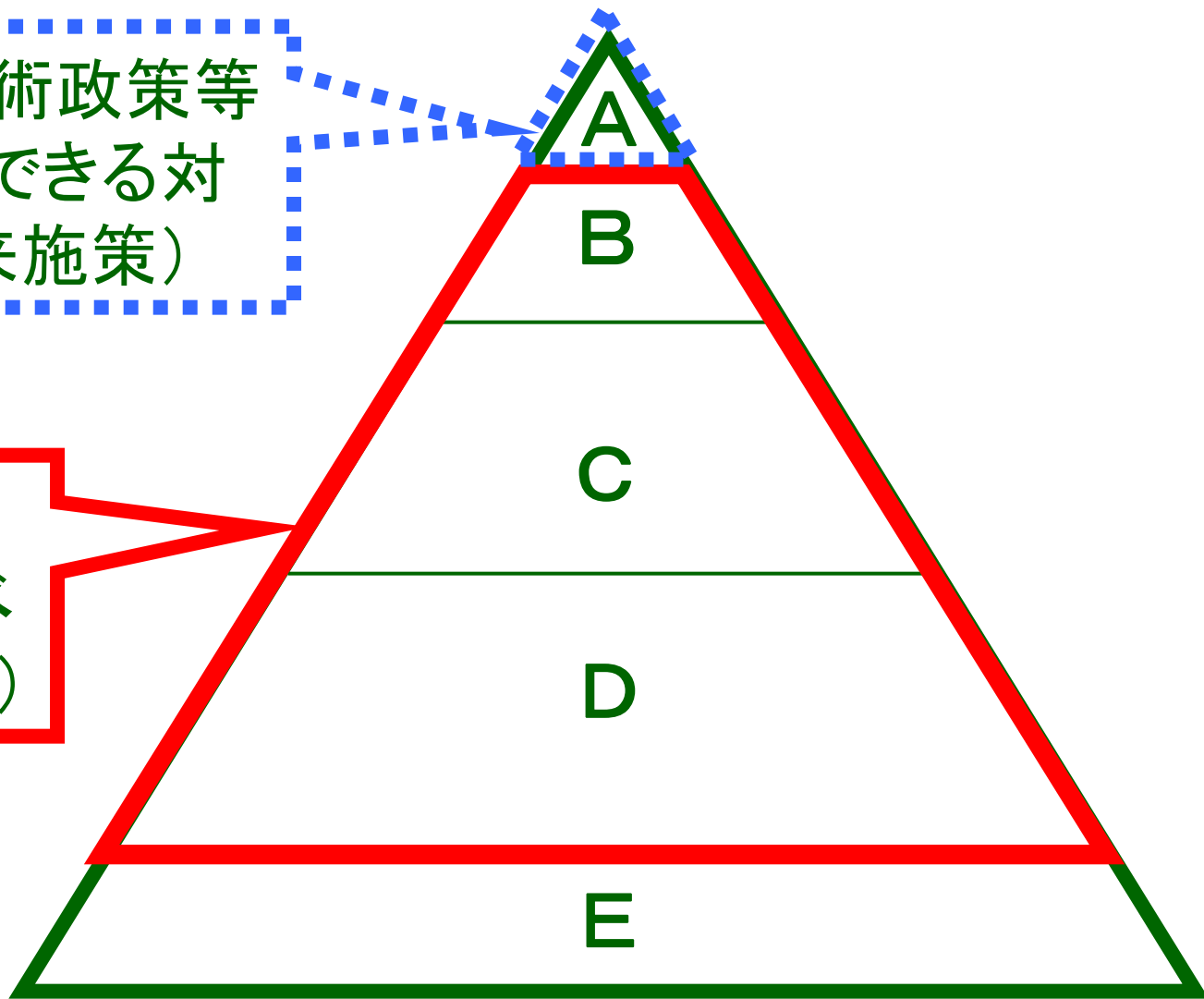
(国立大学と中小企業の共同研究数(件数))



重点的に取り組むべき、中小産学官連携の対象

科学技術政策等
で対応できる対
象(従来施策)

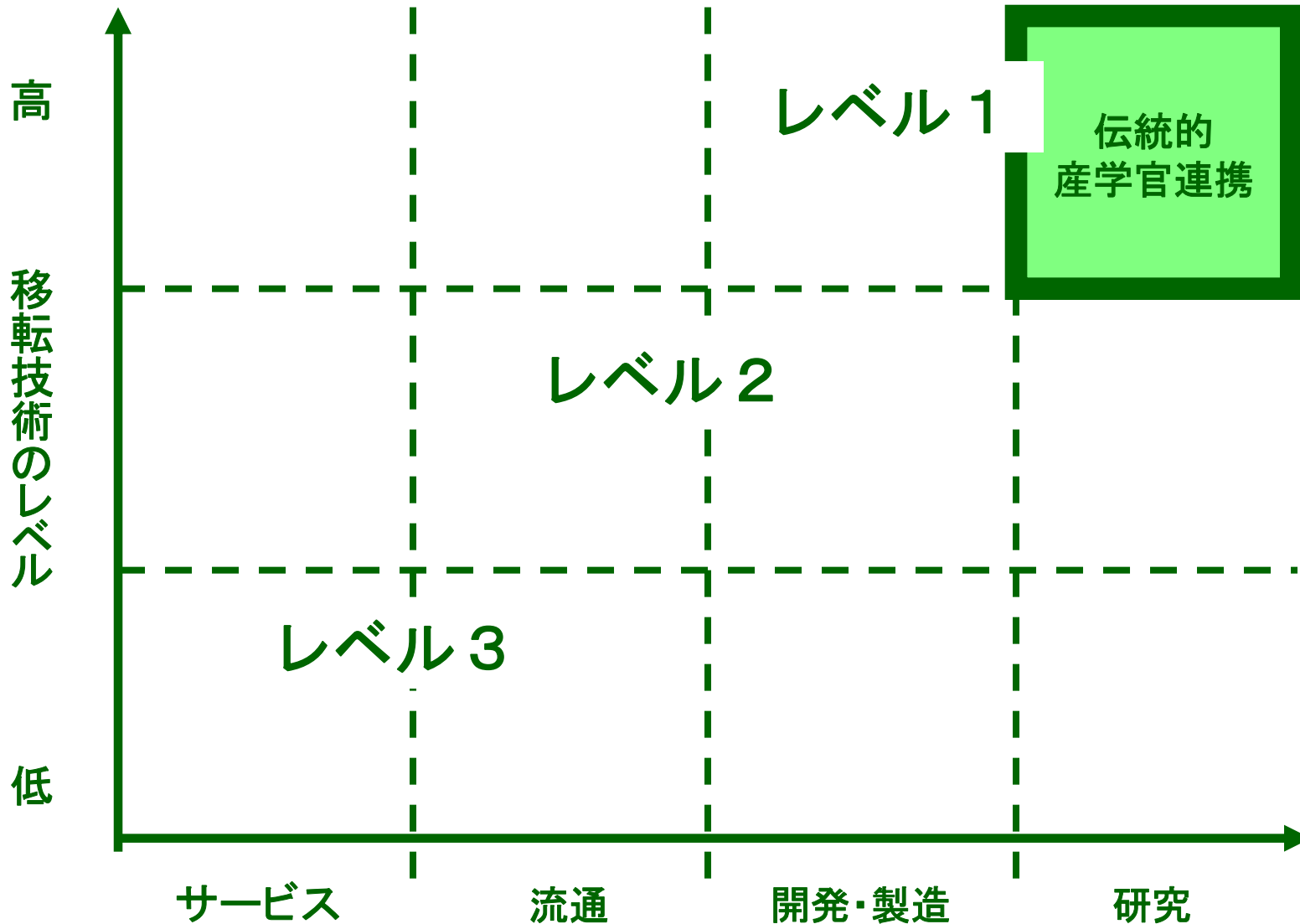
今後重点的
に取り組むべ
き対象(重点)



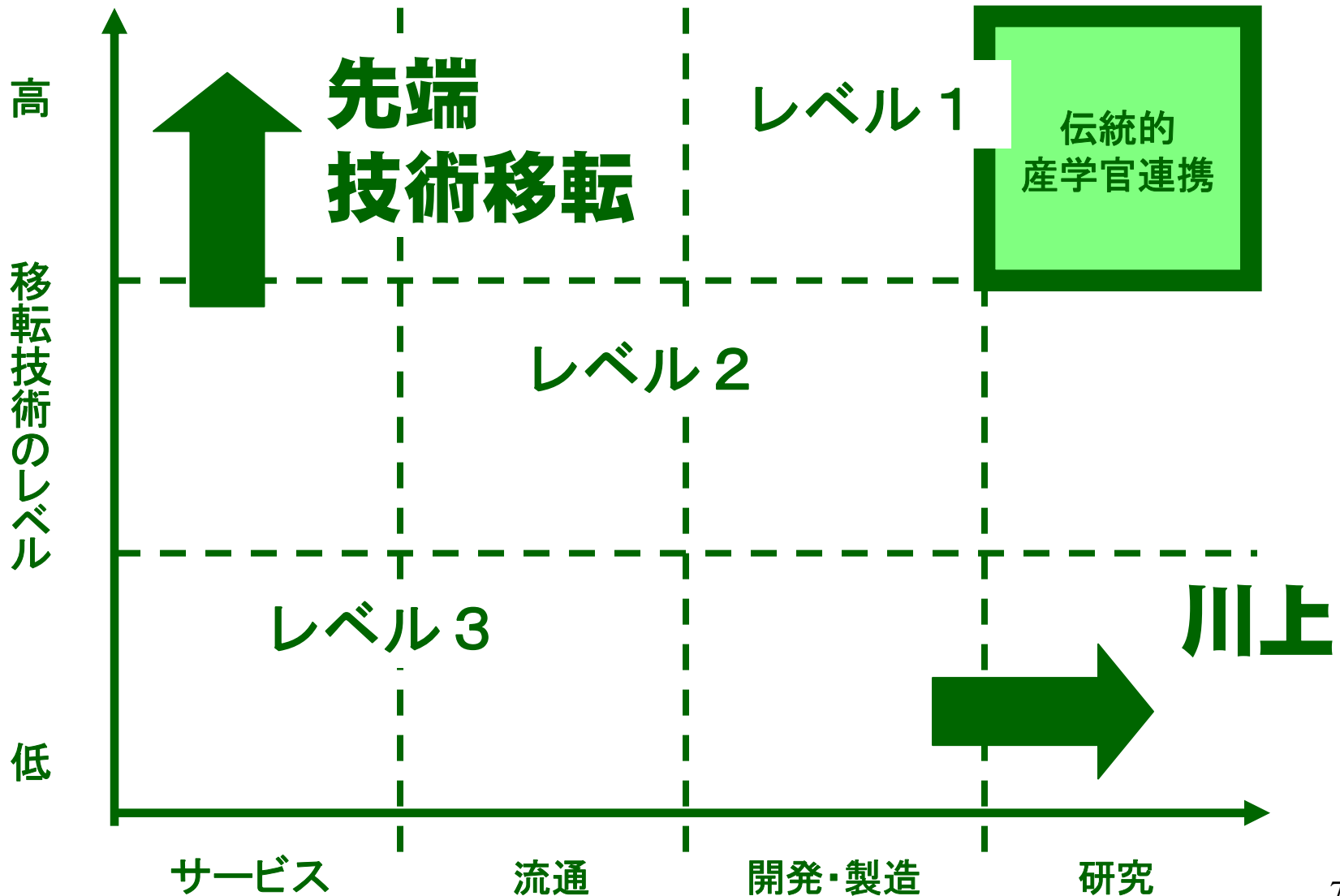
産学官連携への、 中小企業からの要請

- 短期（例：一両年）で結果
- （研究に終わらず）事業化
- 経営（例：売上、利益）に寄与

移転技術の水準を基にした連携の分類

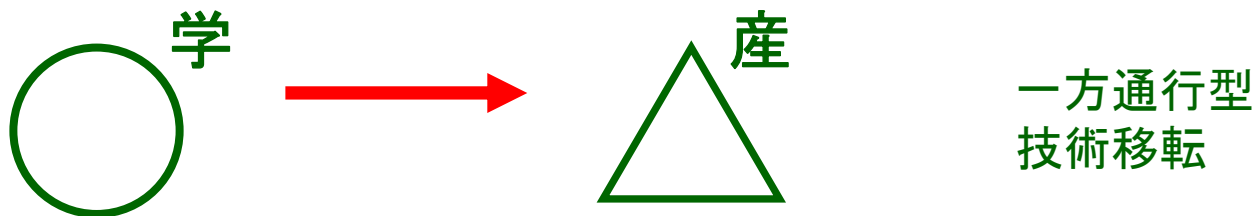


移転技術の水準を基にした連携の分類

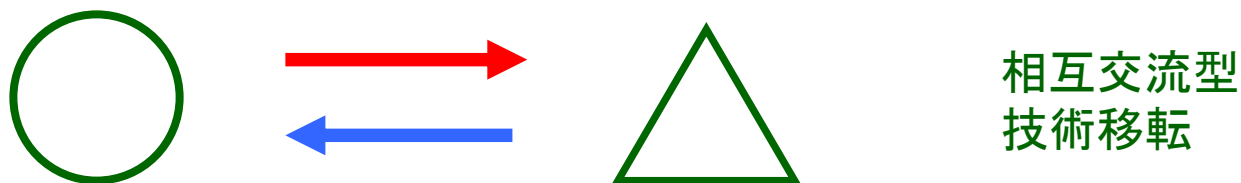


産学官の「連携機能」からみた、3つのレベル

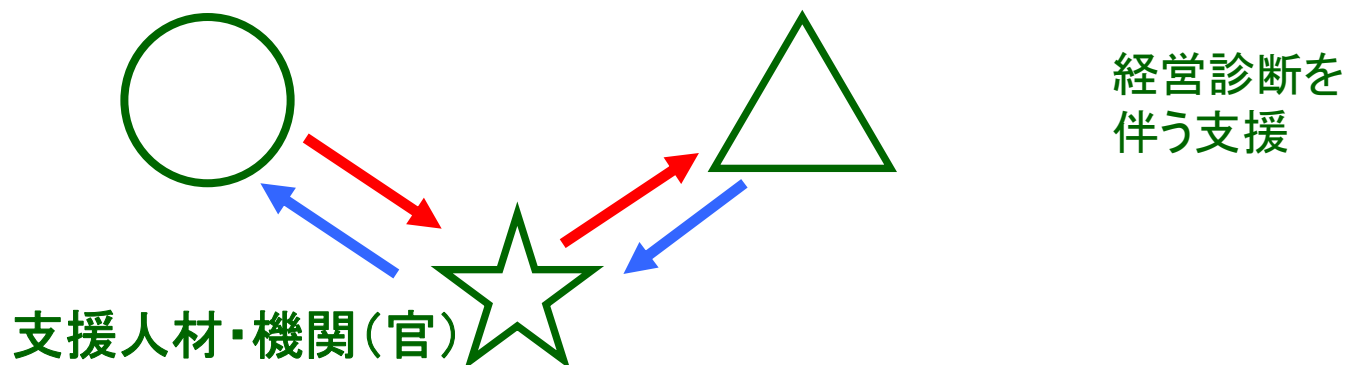
【レベル1】



【レベル2】

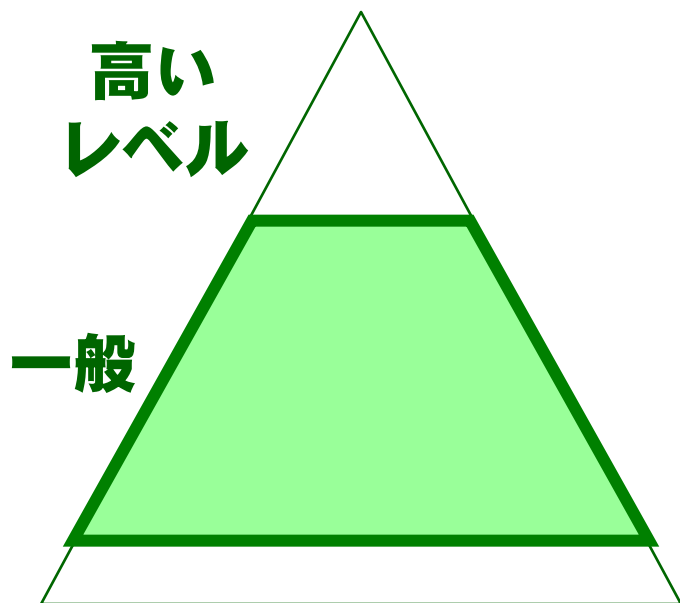


【レベル3】

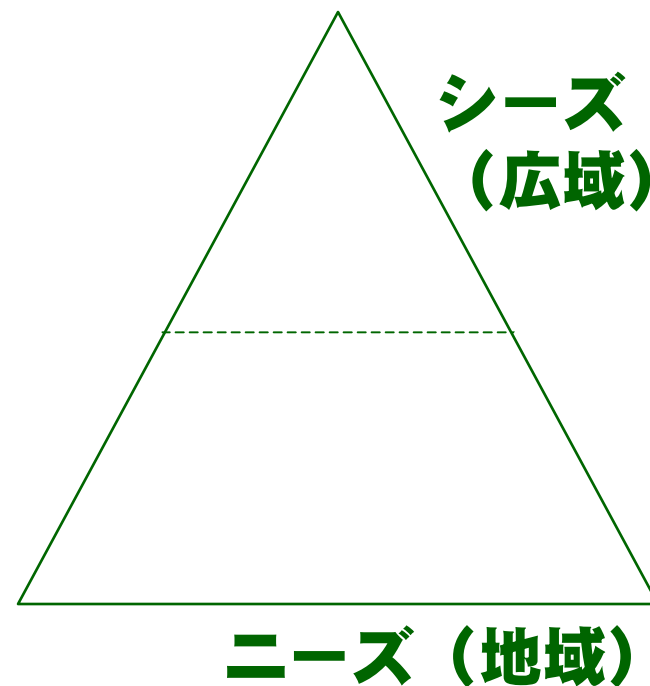


中小企業産学官連携の機能（モデル） ーコーディネート機能を中心にー

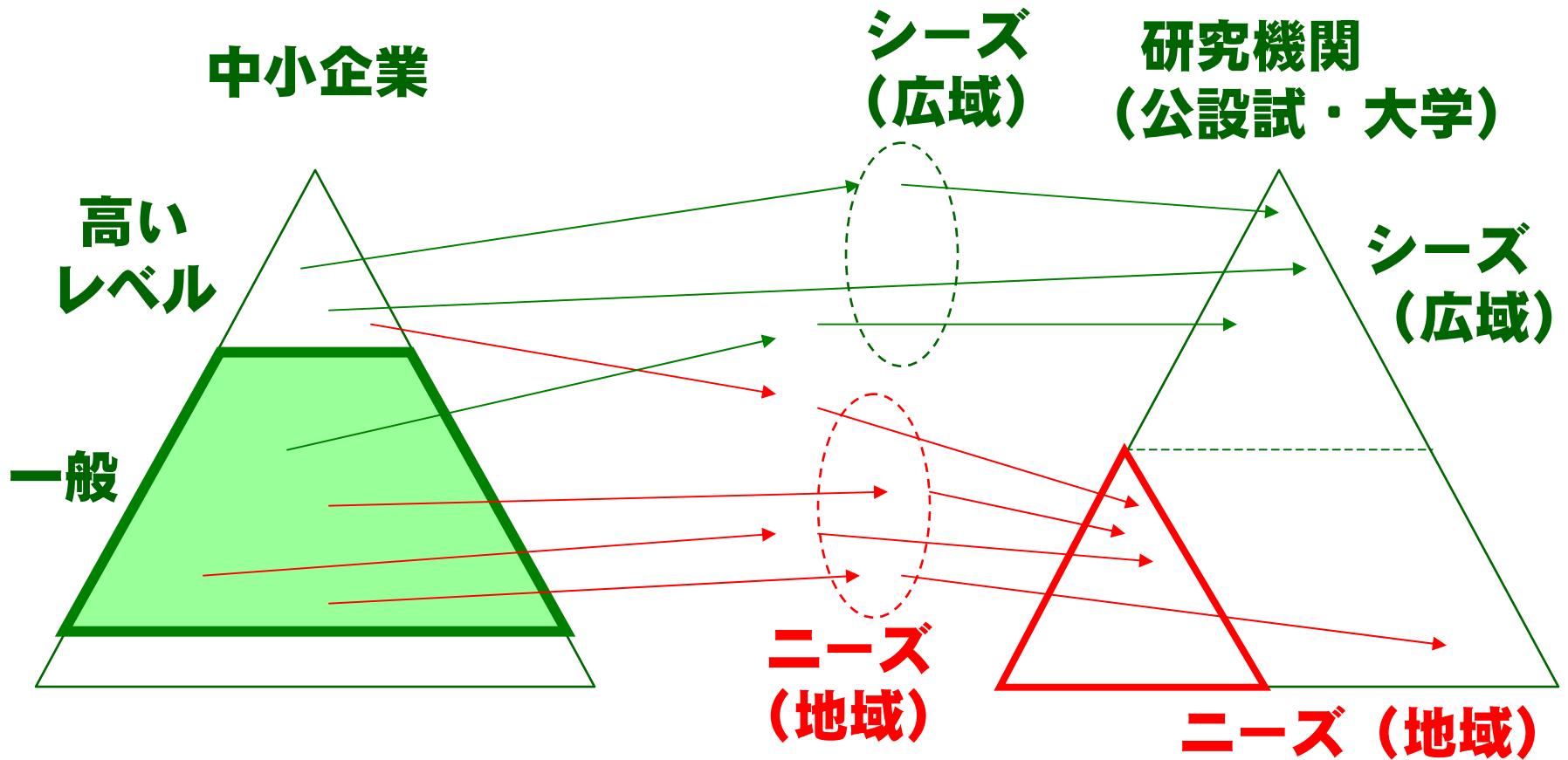
中小企業



研究機関
(公設試・大学)

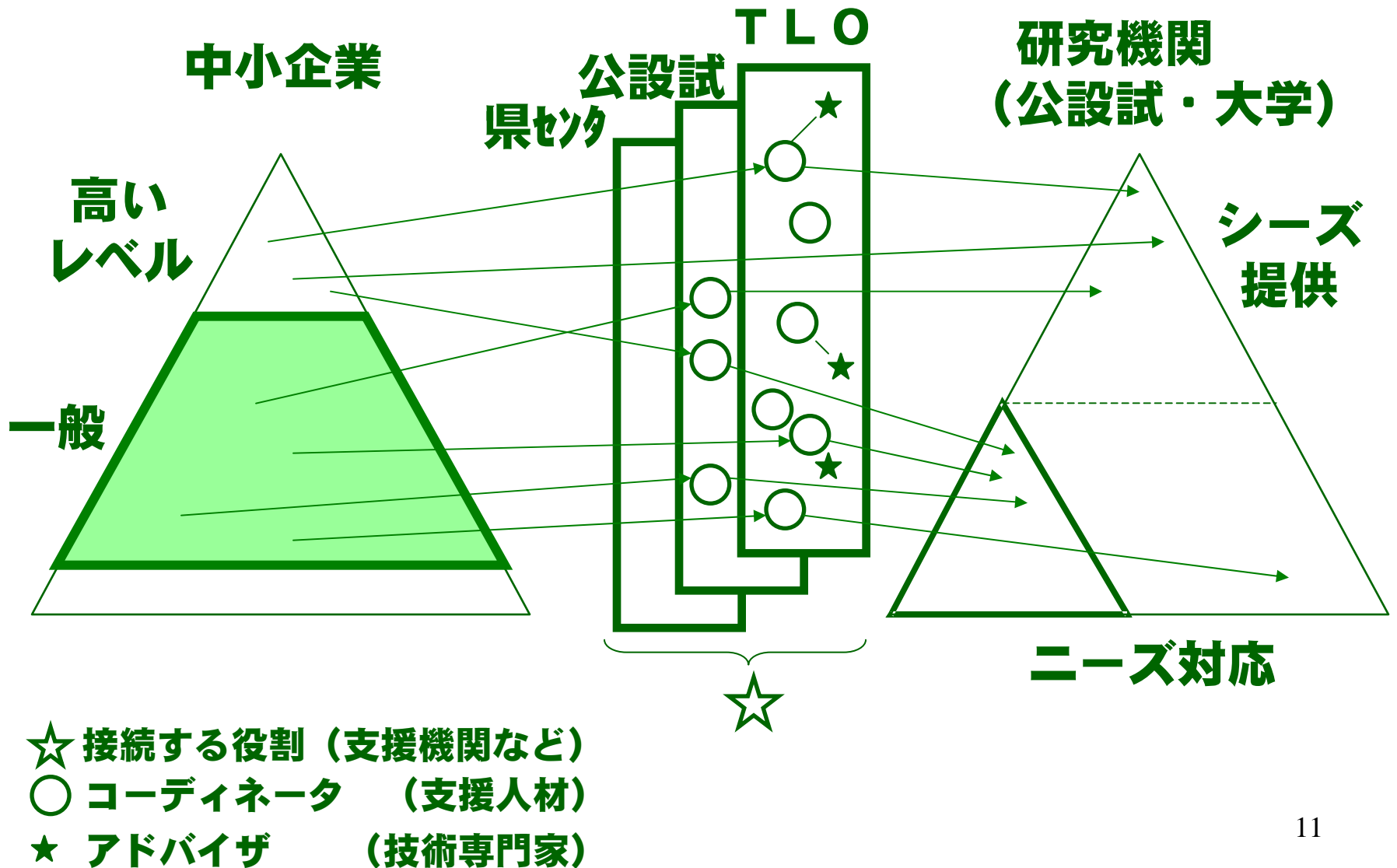


中小企業産学官連携の機能（モデル） －コーディネート機能を中心に－



ポイント：
「シーズ」は広域、「ニーズ」は地域、でマッチング

中小企業産学官連携の機能（モデル） －コーディネータ機能を中心に－



論点1

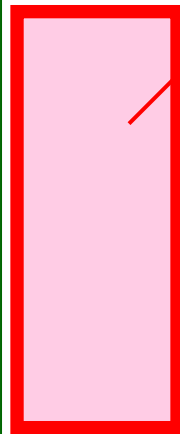
$$\begin{pmatrix} \text{シーズ} \\ \text{ニーズ} \end{pmatrix} \times \begin{pmatrix} \text{広域} \\ \text{域内} \end{pmatrix}$$

論点2

「コーディネート」を行う

人・機関は

シーズ指向
(例：
先進技術
独自技術
分野創造)

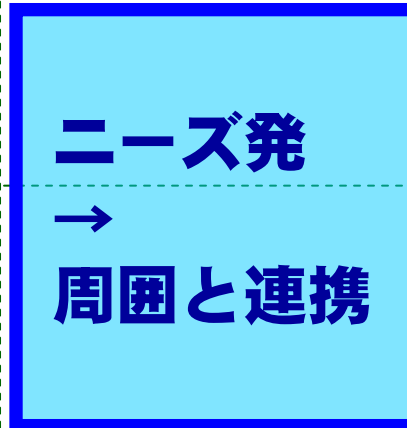


産地支援
(例：
農水産
窯業、繊維)

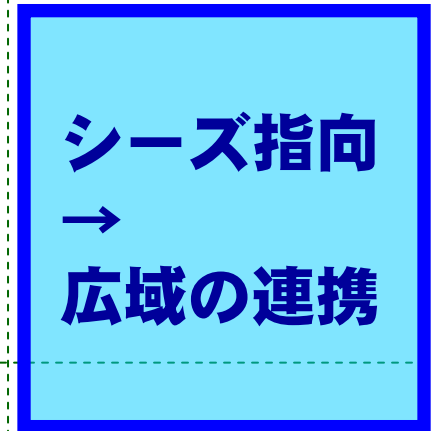
ニーズ発
(例：
生産技術
品質管理
情報提供)



地域内
(例：県内)



隣接・周辺
(例：隣県)



広域
(例：遠隔)

産学官連携の成果を上げた事例を調査

【調査対象】

- ① 国立大学
- ② 地域共同研究センター
- ③ 公立・私立大学
- ④ 公立・私立短期大学
- ⑤ TLO
- ⑥ 国公立高等専門学校
- ⑦ 公的支援機関など

全 **2,105** 機関

【調査方法】

- ① 方 法 : アンケート方式
(郵送、eメール)
- ② 調査期間 : 平成19年8月6日～9月14日
- ③ 有効回答数 : 521件 (回収率 24.8%)
- ④ 有効事例数 : **663** 事例

産学官連携として成功した
といわれている事例

No

Yes

具体的に売上げに寄与
しているか。

No

Yes

今回は、売上拡大や生産性
向上等に寄与しているが、
数字が計測できない事例を
除いている。

▼ 1
どのレベル
での「成功」か

「成功」のレベルは、どこか。

【レベル1】…売上を計上した。

【レベル2】…継続して売上を計上している、または、利益が出ている。

【レベル3】…自社の有力な製品・サービスに成長している。

X

連携の効果は、どの程度か。

事業の周辺部分への効果「a」

事業の中核部分への効果「b」

Y

▼ 2「連携」は成功に
どう寄与したか